

# 中期基本計画

令和元年度 ～ 令和5年度



一般社団法人入間市シルバー人材センター

表紙撮影：門原健男

ごあいさつ



理事長 **川原健男**

我が国の高齢化は急速に進行しており、現在 65 歳以上の高齢化率は 27% を超え、数年後には 30% に達しようとしています。入間市においても、本年 4 月 1 日現在で 28.4% となっており、7 年後では 30% を超え、75 歳以上の後期高齢者率は 17.5% に達すると推計されています。

少子高齢化による生産年齢人口が急速に減少する中で、社会の担い手として高齢者の活躍の期待が高まっており、「労働者派遣法」の改正（平成 27 年 9 月 30 日施行）や「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正（平成 28 年 4 月 1 日施行）により高齢者の就業機会促進の施策が進行しています。

このため、「地域高齢者が働くことを通して、生きがいと健康・社会参加を目指す。」というシルバー人材センターの基本理念を発展させながら、新しい社会ニーズの期待に応え、私ども入間市シルバー人材センターは、今後のセンターの在り方や業務推進方法を含めた 5 ヶ年先までの中期基本計画を策定する必要性が生じました。

これを実施するために、9 名のメンバーからなる「中期基本計画策定実行委員会」を発足させて、8 月より延 14 回にわたる委員会の開催により調査・検討を経て、基本計画を策定しました。本年度（令和元年度）より計画実現に向けて取り組んでまいります。

令和元年 6 月

# もくじ

ごあいさつ	理事長 門原健男	1
-------	----------	---

## 第1章 策定趣旨と期間

1	中期基本計画策定の趣旨	4
2	基本計画の期間	4

## 第2章 シルバー事業を取り巻く環境

1	高齢化の状況について	4
2	入間市の高齢者の支援と連携	5
	(1) 高齢者が安心して活動できるまち	
	(2) 入間市との連携	

## 第3章 シルバー人材センターの課題

1	会員の増強	5
2	就業機会の拡大	6
3	安全・適正就業の徹底	6

4	人材の育成	6
5	運営基盤の強化と組織の活性化	6
6	イメージアップ	7

## 第4章 事業推進計画の目標と取組

1	会員数	7
	(1) 目標数値 (2) 取組み内容	
2	就業率・就業延人員・契約金額	8
	(1) 目標数値 (2) 取組み内容	
3	安全・適正就業	8
	(1) 目標数値 (2) 取組み内容	
4	運営基盤の強化	9
	(1) 目標数値 (2) 取組み内容	
5	特筆事項	9
	(1) 設立40周年記念事業	
	(2) 公益認定再申請について	
平成31年	顧客満足度調査結果について	10
	(お客様へのアンケート)	
	中期基本計画策定実行委員会名簿	14

## 第1章 策定趣旨と期間

### 1 中期基本計画策定の趣旨

我が国では、高齢化が進行する中「超高齢社会による働き手不足」というこれまでなかった問題が発生しており、高齢者になっても働き続けられる「生涯現役社会づくり」がシルバー人材センターに課せられた使命と言えます。

一方、高齢者等の雇用の安定等に関する法律が改正され、65歳まで働き続けられるようになったことで、シルバー人材センターでは入会会員の減少や高齢化が新たな問題となっています。

このような厳しい状況の中で、入間市シルバー人材センター(以下「センター」という。)は次の三点を主たる目標とし、この計画を策定します。

- ・高齢者の多様なニーズに対応できる就労形態を確保すること
- ・地域社会でのセンターの役割の見直しを図り、地域社会づくりに貢献すること
- ・会員の生きがいと健康を保持すること

### 2 基本計画期間

令和元年度(2019年)～令和5年度(2023年)を期間とする。

## 第2章 シルバー事業を取り巻く環境

### 1 高齢化の状況について

我が国の総人口は、平成29年10月1日現在、1億2,671万人となり、65歳以上人口は、3,515万人で、総人口に占める割合(高齢化率)は、27.7%となります。65歳以上の人口を男女別にみると、男性は1,526万人、女性は1,989万人で、女性人口100人に対する男性人口は76.7人であり、男性対女性の比は約3対4です。また、入間市をはじめとする近隣の市ではばらつきはありますが、高齢化率は国の統計資料に近い推移となっています。

令和7年には、平均して高齢化率は30%まで確実に上昇すると見込まれ、過去に例のない高齢化が進むと予想されます。

今後、センターは高齢者が社会の人手不足解消の担い手として期待される面と、更に高齢者の一人暮らしが増え、益々家事援助事業等の役割が重要になると考えられます。

※人口:平成30年高齢白書より

## 高齢化の伸び率（近隣市）

	平成 30 年			令和 7 年	
	総人口	65歳以上	高齢化率	高齢化率	高齢化伸び率
入間市	148,450 人	41,529 人	28.0%	31.6%	3.6%
狭山市	152,487 人	45,622 人	29.9%	34.7%	4.8%
所沢市	344,451 人	90,670 人	26.3%	30.8%	4.5%
飯能市	80,070 人	23,792 人	29.7%	35.6%	5.9%
川越市	353,044 人	92,725 人	26.3%	27.0%	0.7%

※令和 7 年:国立社会保障・人口問題研究所 人口推計埼玉県版参考

## 2 入間市の高齢者の支援と連携

### (1) 高齢者が安心して活動できるまち

シルバーだより第 92 号、入間市長の新年の挨拶にありますように「健康でいきいきと暮らす高齢者が多いまちをつくる」とともに、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える「市民が市民を支えるまち」の実現を目指しており、我々センターの果たす役割が期待されています。

また、入間市の高齢者支援の政策目標に「高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生きがいをもって生活できる環境が整備された、明るい活力ある地域社会を目指します」とあるように元気な高齢者の就業先の確保を柱に安心して活動できるまちづくりを推進していきます。

### (2) 入間市との連携

センターと入間市は、「健康でいきいきと暮らす高齢者が多いまちをつくる」という意味において目標を同じくする存在です。そのために市民ニーズをはじめ地域に関するさまざまな情報を把握している入間市と連携を高めていきます。

## 第3章 シルバー人材センターの課題

### 1 会員の増強

全国シルバー人材センター事業協会の「会員 100 万人達成計画」の策定により、平成 30 年から 2 年間毎年 3.9%増とし、その後 4 年間毎年 5.8%増の数値目標としている。当センターもこの目標に沿った事業計画を策定することとした場合、毎年 50 人以上の会員増を見込む壮大な計画となる。（目標数値 7 ページ参照）

現状は、平成 30 年度 22 人増で 1.6%の伸びを示したが、更に定年制が段階的に上昇する中、微増の会員数で推移することが想定されます。

今後、シルバーの事業運営の取組みや仕組みの見直しが必要とされ、「生きがいと健康」・「社会参加」に寄与する多方面の取組みとする事業展開を図り会員の増強が求められます。

## 2 就業機会の拡大

現状の受注件数を5年前と比較すると93.3%と減少をしていますが、就業延人員は108.2%と増加しています。これは積極的にワークシェアリングに取り組み、就業機会の増加に繋がった結果と言えます。

今後は、新規開拓員と共に、従来の就業先にも今まで請負事業では受注が不可能な分野(主に工場内作業や事務作業)を中心に派遣事業での受注範囲を拡大し、就業機会を確保できるよう取り組む必要があります。

## 3 安全・適正就業の徹底

会員の加齢による身体機能の衰退や慣れによる慢心・過信による事故が後を絶たず、平成30年度には全10件の傷害事故の内、転倒による事故が4件ありました。会員が就業するにあたり「安全は全てに優先するもの」であり、就業中や就業途上での「事故ゼロ」を目指し、会員の安全意識の高揚を図る取り組みが必要とされています。

また、法令遵守の観点から、発注者からの指揮命令等、偽装請負と判断されかねない受注が存在しており、派遣事業への切替え等、改善が求められています。

## 4 人材の育成

センター組織の活性化が急務であり、会員の意識向上や職群班と地域班のリーダー育成が必要とされています。また、より効果的な事業拡大を図るため、今後は、積極的に会員向けの研修や講習会を開催し、人材を育成し発注者の信頼を得ることが課題となります。

## 5 運営基盤の強化と組織の活性化

社会経済情勢の先行きが不透明の中、定年制の延長、外国人材受入れなど、さまざまな分野で課題が山積しており、その影響はセンターにおいても避けられません。それらを見据え、安定した財政基盤、特に自主財源の確保は重要な課題となります。

また、理事の委員会活動への役割は重要であり、安全・適正就業、会員増強、広報活動や普及啓発事業への取り組みや就業先拡大が運営基盤の強化に繋がると考えます。

職群班では、自主的かつ積極的な就業活動が求められ、その礎になる「自主・自立、共働・共助」の精神を基本理念として、連帯意識の推進を図っていくことが必要とされます。

地域班7地区については、目的や活動方針を明確にし、センターとの連携や協力、更に自主性ある活動を継続的に実施することが望まれます。

## 6 イメージアップ

平成30年12月1日現在、入間市の60歳以上の人口におけるセンターへの入会率は2.6%となっており、男女別では、(男性 4.0%、女性 1.4%)と女性が低い比率となっています。

就業のメインである清掃や屋外作業への希望者が減少しており、業種の拡大によるイメージアップが必要となります。

センターは、入間市の催事(万燈まつり、やまゆり長寿フェスティバル)等へ参加する事でPRを行っていますが、「高齢者が仕事を通じて社会参加し、生きがい・健康を得て元気に活躍する団体である」という認知度を高めることが望まれます。

# 第4章 事業推進計画

## 1 会員数

### (1) 目標数値 (年度末)

事業年度	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
会員数(人)	1,330	1,380	1,430	1,480	1,530	1,580
増減(人)	—	50	50	50	50	50
前年比(%)	100.0	103.7	103.6	103.4	103.3	103.2

### (2) 取組み内容

全国シルバー人材センター事業協会の掲げる「会員100万人達成計画」を見据え、新規会員確保の取り組みとして、毎週の入会説明会や出張説明会、ポスター掲示やチラシ配布等幅広い広報活動を実施します。

特に行政の協力やメディアの活用、ハローワークとの連携等により会員確保に努めます。また、未就業会員の就業促進活動を積極的に行うことで退会者の抑制に繋がります。更に、普及啓発活動も活発に行い、就業意欲が減退した会員にもさまざまな活躍の場を提供することにより、センターの社会的役割を果たしていきます。

## 2 就業率・就業延人員・契約金額

### (1) 目標数値 (年度末)

事業年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
就業率 (%)	94.20	94.40	94.60	94.80	95.00
就業延人員 (人日)	13,300	13,800	14,300	14,800	15,300
請負事業 (千円)	633,600	627,000	620,000	613,000	606,000
派遣事業 (千円)	55,000	66,000	79,000	95,000	115,000
契約金額合計 (千円)	688,600	693,000	699,000	708,000	721,000

### (2) 取組み内容

就業の場を確保するために、次のような取組を積極的に行います。

- ① 未就業会員の対応として、就業相談会への呼びかけを定期的に行い、短期作業等への参加を促す事で1人でも多くの会員に就業の場を提供できるよう努めます。
- ② 従来の請負では受注ができずにいた業務（主に事務、保育、小売）も派遣事業に取込みます。

## 3 安全・適正就業

### (1) 目標数値

- ① 巡回パトロール 年間 12件 (1日2件(半日) × 2班 × 年間3回)
- ② 研修・講習会 年間 9回
  - ・交通安全講習会(2回) ・健康講習会(2回) ・職群班役職者研修会
  - ・適正就業ガイドライン研修会 ・接遇講習(2回) ・普通救命救急講習会

### (2) 取組み内容

- ① 安全意識の徹底
  - ・安全講習会の実施(交通安全講習会、健康講習会等)
  - ・安全情報等の提供(広報誌、HPを活用した事故情報等の周知)
  - ・巡回パトロールの実施(就業会員へ安全意識の啓発)
- ② 適正就業の推進
  - ・適正な就業形態の確保(契約更新時における、業務内容の確認)
  - ・ローテーション就業の推進(長時間就業者対象)
  - ・派遣事業の推進

## 4 運営基盤の強化

### (1) 目標数値

- ① 役職員・職群班・地域班の研修または視察を各年度1回以上実施
- ② 代表理事研修・監事研修・会計研修・職員階層別研修・安全研修等、(公財)いきいき埼玉連合主催の研修への参加

### (2) 取組み内容

#### ① 組織体制の活性化

理事会組織は、委員会運営を統制し、各委員会との連携強化に努め、円滑な運営と社会情勢に迅速かつ柔軟な対応を目指します。

また、職群班と地域班については、センターの基本理念に基づいて組織されており、これまで以上に会員の意識向上や健康増進に取り組めます。

#### ② 財政基盤の強化

センターは、国や市の補助金により運営している団体です。そのため、会員数と就業延人日数の上昇を目指し、補助金交付額の各付けAランクの維持に努めます。また請負事業と派遣事業のバランスを鑑み、更に運営費を見直し財政基盤の安定化に努めます。

※Aランク：補助金交付額の最高ランクです。

## 5 特筆事項

### (1) 設立40周年記念事業

昭和55年に高齢者事業団として設立し、令和2年に設立40周年迎えます。この令和2年度に記念誌編集実行委員会を設立し記念誌を作成します。

また、設立40周年記念の祝い冠行事として、センター主催の事業を実施します。

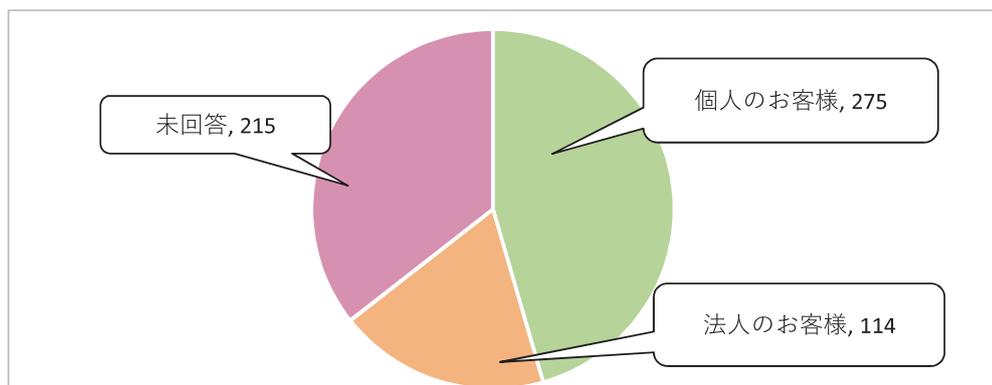
### (2) 公益認定再申請について

欠格事由により平成29年3月31日に公益認定取消処分となり、平成29年度に一般社団法人へ移行しました。公益認定の再申請は令和4年4月から可能になります。理事会は、有識者の見解を参考にしながら公益認定再申請の是非を検討し、令和3年度の定時総会にて議案を提出することとします。

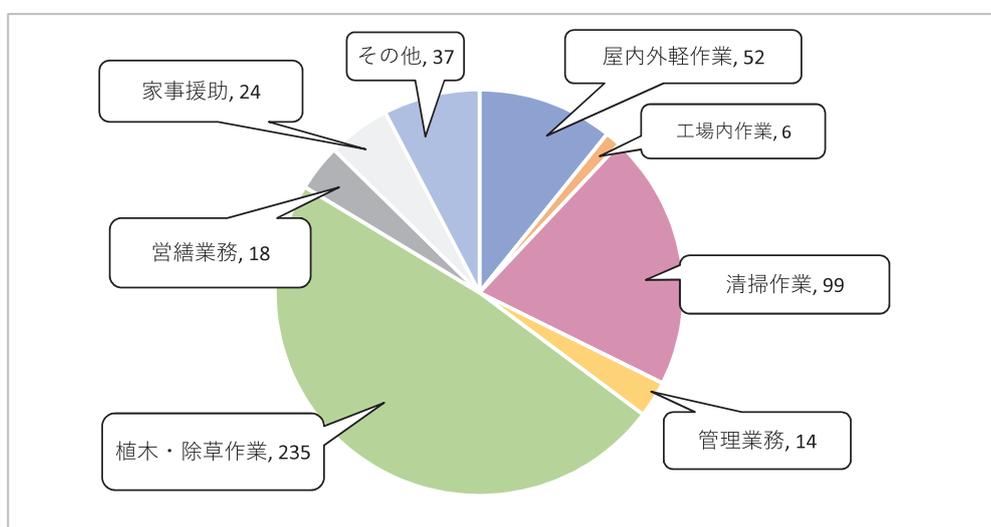
## 顧客満足度調査結果について（お客様へのアンケート）

（単位：人）

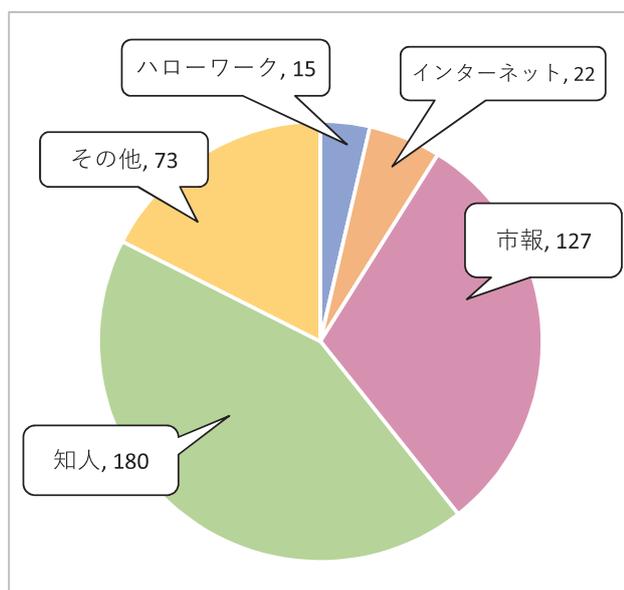
送付数  
604通  
回答数  
389通



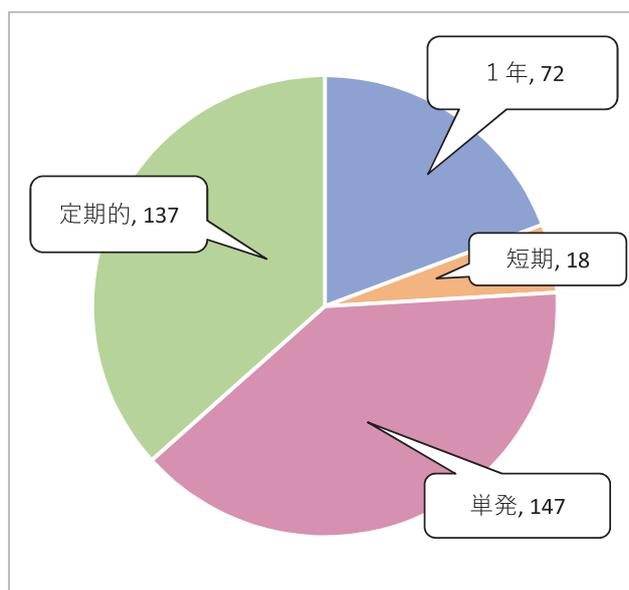
### どんな仕事を依頼されましたか又はしていますか



### シルバー人材センターをどちらで知りましたか

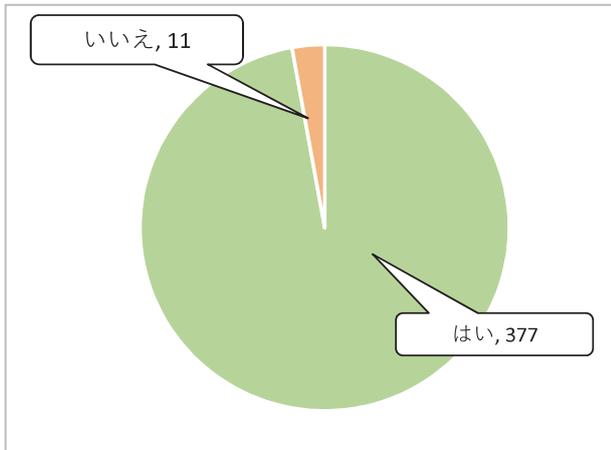


### 契約期間はどれくらいですか

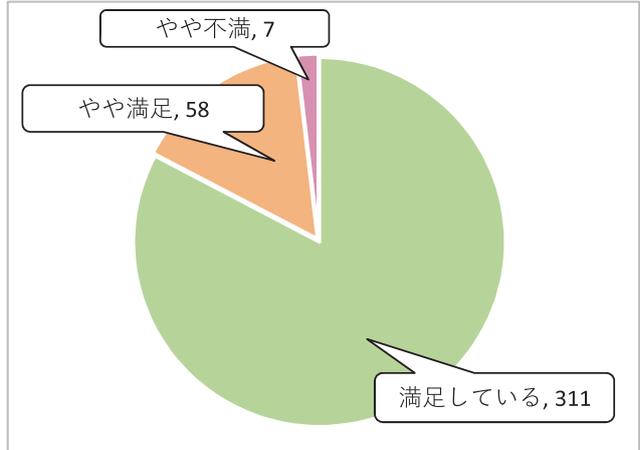


(単位：人)

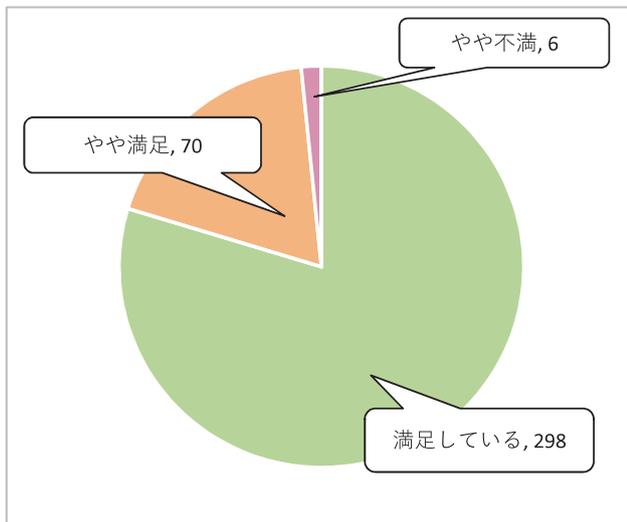
会員は仕事の始めと終わりに挨拶をしておりますか



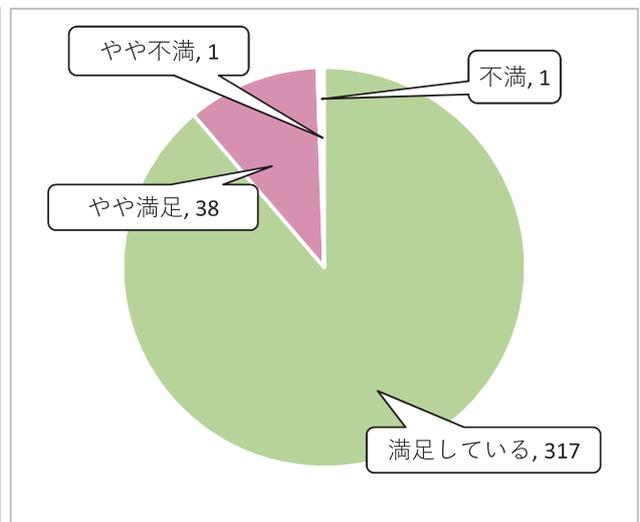
会員の仕事ぶりはいかがですか



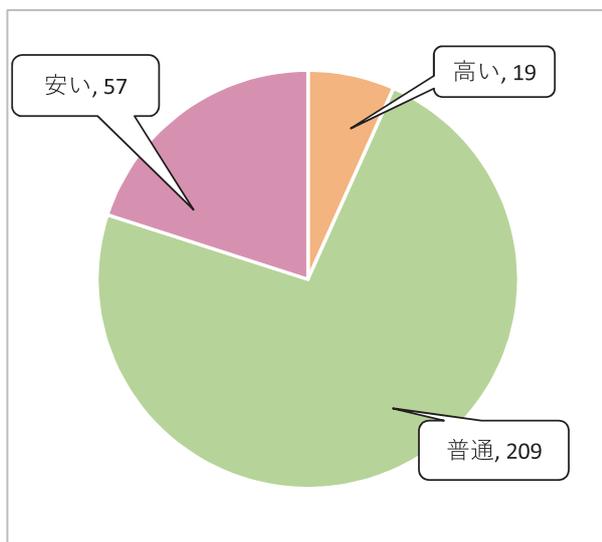
仕事の結果は満足されましたか



会員の身だしなみについて

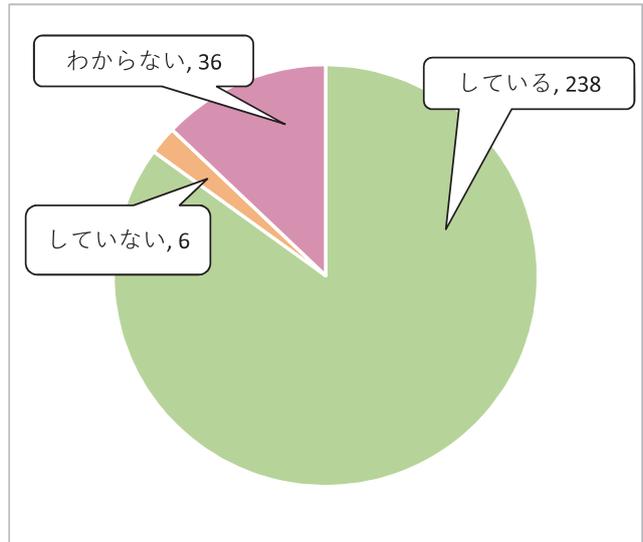


個人お客様：料金について



個人のお客様：

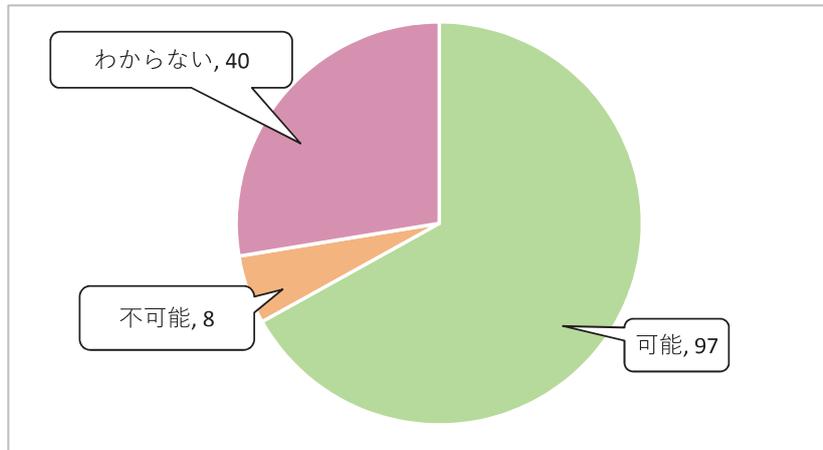
会員はコミュニケーションを図っておりましたか



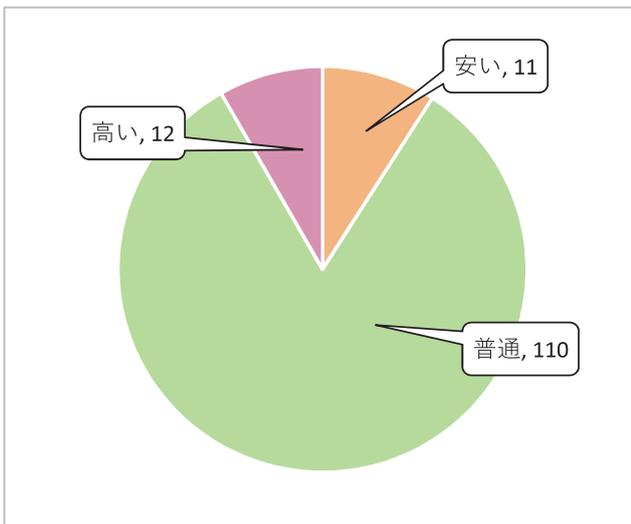
(単位：人)

法人のお客様：

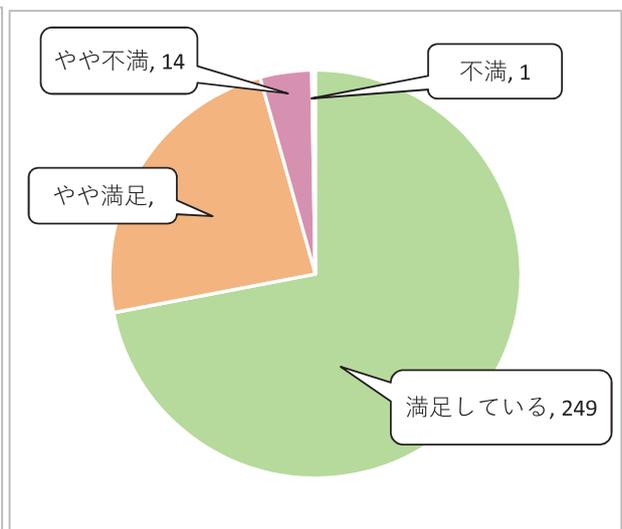
春の契約更新を最低賃金改正時期の秋に変更することについて



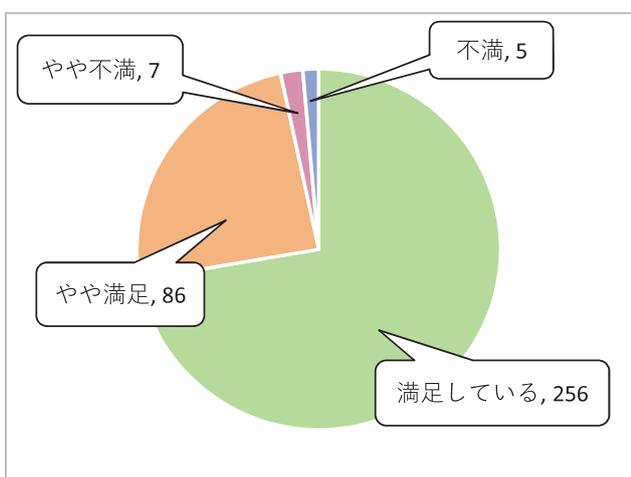
法人のお客様：契約金額について



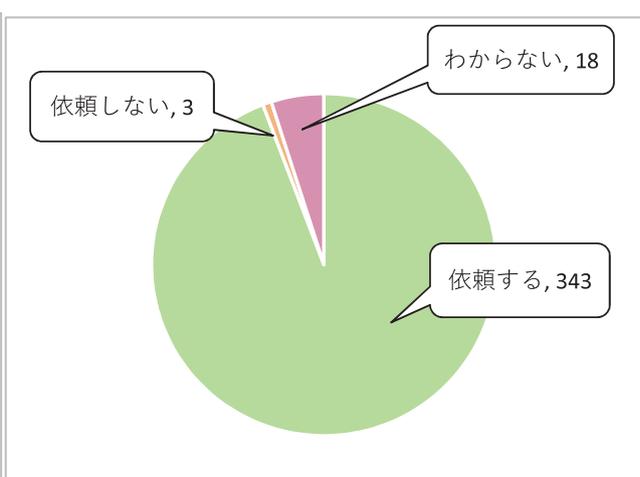
センターの電話対応等はいかがでしたか



センター担当者の対応について



これからもセンターにご依頼していただけますか





その他自由なご意見をご記入下さい

- ・ 非常に助かっています
- ・ 暑い中、寒い中、依頼した仕事を大変良くしていただきありがとうございます
- ・ 仕事が終わっていくら請求されるかわからないので不安
- ・ いつも気持ちよく熱心にお仕事をして下さり感謝しております
- ・ 感謝以外の言葉がありません これからもよろしくお願いします
- ・ 来て下さる方によって、仕上がりにバラつきがあるように感じます
- ・ 依頼してから、作業に入るまでの期間が長く待たされる
- ・ 人柄、仕事ぶりに満足しています
- ・ 突然作業される方が下見に家まで訪ねて来て驚いた
- ・ 気軽にお願いでき安心です
- ・ 作業中の会話は少ないほうが良い
- ・ 大変お世話になり感謝しております
- ・ 清掃経験ある方をお願いしたい
- ・ 人によって作業の質に大きな差があるのでやや不満
- ・ 駐車場で痰を吐くのをやめて欲しい
- ・ いつも丁寧に作業して頂きありがとうございます
- ・ 仕事量と料金が合っています
- ・ シルバーさんをお願いして良かった！
- ・ 仕事ぶりに一部不満があります
- ・ 真面目にテキパキとしている
- ・ 適正な金額で契約締結していると思います
- ・ 引きつづきよろしく願いいたします
- ・ 就業開拓担当が頻繁に変わることや休日の連絡などに不満
- ・ 決められた仕事をきちんとこなしている

以上、多くのご意見をいただきました。

集計の様子



総務委員会 平成31年4月17日

## 中期基本計画策定実行委員会名簿



区分	氏名	所属・役職
委員長	門原 健男	一般社団法人 入間市シルバー人材センター 理事長
副委員長	池上 久雄	一般社団法人 入間市シルバー人材センター 副理事長
委員	高山 京子	一般社団法人 入間市シルバー人材センター 常務理事兼事務局長
委員	宇津木教芳	入間市 高齢支援課 課長 一般社団法人 入間市シルバー人材センター 理事
委員	小笠原輝美	一般社団法人 入間市シルバー人材センター 理事
委員	島津 昌生	一般社団法人 入間市シルバー人材センター 会員
委員	松永 一郎	一般社団法人 入間市シルバー人材センター 会員
委員	池島 直人	一般社団法人 入間市シルバー人材センター 職員係長
事務局	佐野 隆	一般社団法人 入間市シルバー人材センター 嘱託職員

一般社団法人入間市シルバー人材センター

### 中期基本計画

令和元年6月発行

〒358-0014 埼玉県入間市宮寺4102-288

TEL 04-2934-5350 FAX 04-2934-5307

メール iruma@sjc.ne.jp <http://www.iruma-sjc.or.jp>